

近代英語協会第 24 回大会

日 時：2007 年 5 月 18 日（金）
場 所：青山学院大学（青山キャンパス 6 号館・第 4 会議室）
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
TEL: 03-3409-8111 (総合案内)

受付開始	9:30	
開会の辞	10:00 — 10:10	会長 青山学院大学教授 秋元 実治
シンポジウム	10:10 — 12:10	
	「コロケーションの通時的研究」	
司会・講師		熊本学園大学教授 堀 正広
講師	「強意副詞 very の発達」	姫路独協大学教授 西村 秀夫
講師	「談話標識の通時的研究と初期近代英語期の用法—コロケーションの視点から」	大阪大谷大学教授 浮綱 茂信
講師	「18 世紀から 20 世紀までのコロケーションの通時的研究—様態副詞を中心に」	熊本学園大学教授 堀 正広
昼食・総会	12:10 — 13:30	
研究発表		
第一部	13:30 — 14:50	
司会		山口大学准教授 前田 満
1. 奪取動詞の前置詞句構文に関する歴史的考察	鶴見大学非常勤講師 真川 まりこ	
2. Cannot Bear の補文構造の過去・現在—The Corpus of Late Modern English と The British National Corpus を利用して—	摂南大学専任講師 住 吉 誠	
休憩	14:50 — 15:00	
第二部	15:00 — 16:20	
司会		鶴見大学教授 小倉 美恵子
1. Chains of Information with Referential Forms in English: A Historical Discourse Perspective	沖縄国際大学准教授 柴崎 札士郎	
2. 現代英語の子音体系：最後に登場した音素	法政大学教授 羽田 陽子	
休憩	16:20-16:40	
特別講演	16:40-18:00	
司会		名古屋大学教授 天野 政千代
講師	“As it were and if you will: The development of clausal pragmatic markers” Professor Laurel J. Brinton, University of British Columbia (Canada)	
閉会の辞	18:00 — 18:10	東京学芸大学名誉教授 宇賀治 正朋
懇親会	18:30 — 20:00	会場：アイビーホール 青学会館 グローリー館 3 階 アロン